

階段の手すりについて

長い間町政にご尽力されていることに感謝申し上げます。

「すでに担当課と協議しているもの」に該当するとは思いますが、回答することができませんのでご了承ください、は納得できません。

担当課を通さず直町長への手紙にすると回答を頂けるって変です。担当課と話し合ってもどうしようもないから町長であればもっと知恵があると思うのが常ではないでしょうか。

現在は障がい者も認知症の人も共生しましょうと国は言っています。ポンプ小屋の中央台側階段を長い間使っており障がいを持ち手すりがあったら橋を渡った先に田んぼがあり広々とした空間はリハビリには最適だと思います。一枚板の川には手すりのついた立派な橋に変わり階段に手すりがどうしてできないのでしょうか。

土手は道路を支えるためにあるとも言われました。それも踏まえ何とかしていただきたい。アイデアを出し包括支援センターに聞くもよし、人材を活用していただきたい。切り捨てるのではなく、より添っていただけないでしょうか。

■回 答

日頃より町の道路行政についてご理解、ご協力いただきましてありがとうございます。

お問い合わせのありました中川に架かる橋については、酒々井町では道路として認定はしておらず、橋としての管理もしておりません。町としては、橋の通行は安全性が確保されているとは言えず、法面の階段に手摺をつけることで一般の方の通行を助長するようなことは望ましくないと考えております。

利用されている方にはお手数をおかけしますが、安全確保のため中崎橋をご使用いただくようよろしくお願いいたします。

担当課 《 まちづくり課 》